

のせ がわ

広報

広報のせがわ

1

2026

Vol.573

謹賀新年



モルック大会

のごあいさつ



野迫川村長
吉 善 嗣

新年明けましておめでとうござ
います。

村民の皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えになられましたことと、心よりお慶び申し上げます。また、平素より村政の推進に多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

■ 昨年を振り返って

昨年は、世界的な物価高騰の影響が続くなか、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金等を活用し、村民生活の下支えとなる各種支援策を継続いたしました。

その一方で、雲海や星空を楽しむ来訪者が増加し、観光振興や空き家の利活用に向け、検討も進んだ一年でした。

産業面では、地域おこし協力隊や若い担い手の活躍により、高野檜をはじめとする地場産業に新たな息吹がもたらされ、着実な成果が見え始めています。

■ 防災・消防体制の強化

国内では地震が頻発し、南海トラフ地震への警戒も高まっています。

■ 医療・福祉・生活支援

医療・福祉の面では、「南和広域医療企業団」への参画をはじめ、予防接種、母子保健、成人保健などの保健事業を継続し、高齢者を支える地域包括ケア体制の充実に努めています。

また、村民の皆様の暮らしを支える「お買い物バス」についても、ご意見を伺いながら、より使いやすい運行方法の検討を進めてまいります。

■ 地域振興・産業振興

地域振興では、「平維盛の大祭」を継続開催するとともに、野迫川の自然と歴史を活かした名所づくりを推進しています。

■ 温泉の薪エネルギー活用

令和八年度からは、ホテルのせ川上にも取り組んでおり、昨年からさらに一歩進んだ成果が期待されています。

新たな熱利用設備がいよいよ稼働

す。こうした状況を踏まえ、防災・危機管理担当として職員を配置し、避難体制、情報伝達、災害対応力の強化に取り組んでおります。

消防においても、奈良県広域消防組合野迫川分署と村消防団との連携を日頃からの訓練等を通じて深め、有事に備えた実践的な体制整備を進めてまいります。

いたします。地域の森林資源を活かして熱を生み出す、野迫川村らしい循環型の取り組みであり、環境にやさしいだけでなく、観光振興や交流人口の拡大にも寄与することが期待されます。

村民の皆様にとつても、身近で気軽に利用できる憩いの場となるよう、運営体制を整えてまいります。

■ 国の動きと村の未来

憲政史上初の女性内閣総理大臣で奈良県出身である高市総理大臣のリーダーシップの下、国全体が新たな活力へ向けて歩みを進めています。郷土から総理大臣を輩出したことは大きな誇りであり、地方の現場を支える政策の推進にも大いに期待しております。

本村としても、国・県と連携し、人口減少が進む社会においても、活力ある村づくりを着実に進めてまいります。

■ インフラ整備

村内道路の維持管理、舗装補修、橋梁の長寿命化を引き続き進めるとともに、主要地方道高野天川線、県道川津高野線、県道高野辻堂線について、今年も早期整備と維持管理の強化を強く求めてまいります。

■ 国際交流

スロバキア・ビソケタトリ市との協力関係をさらに深め、教育・文化交流の機会を広げてまいります。子どもたちが世界に触れ、未来に夢を持つ環境づくりは、今後の次世代育成に欠かせない重要な取り組みです。

■ 日本国際博覧会の成果と外交活性化

昨年は、日本国際博覧会が開催され、二千五百万人を超える来場者が国内外から訪れました。多くの国々との交流が生まれ、日本の魅力や技術が世界へ広く発信されました。

こうした全国的な流れは、地方

■ 村民の皆様とともに

野迫川村は、少子高齢化という大きな課題を抱えていますが、「村を少しでも良くしたい」と願い、力を貸してください多くの皆様に支えられています。皆様との「協働」により、村の力はさらに強くなりますが。これからも、手を取り合いながら、楽しく、元気に、そして心をひとつにして、小さな村ではあります。元気な村を目指して、未来へ歩んでまいります。

本年が皆様にとりまして、健康で幸多く、希望に満ちた一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

令和8年新年



野迫川村議会議長
西田 邦夫

てまいります。

新年あけましておめでとうございます。
村民の皆様方におかれましては、希望に満ちた令和八年の新年を、晴れやかにお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

年頭に当たり、野迫川村議会を代表しまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、日頃より村議会にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対し、心から感謝を申し上げます。

皆様も記憶に新しいことと存じますが、昨年十月に高市内閣が発足いたしました。日本史上初の女性総理大臣誕生という歴史的瞬間を目の当たりにし、喜びもひとしおです。近年下降気味であった内閣支持率も六割から七割と高水準が続いており、国民の大きな期待の表れであると感じます。更に高市総理は奈良県出身者もあることから、我々村議会も村当局と一丸となり、よりよい村、住みやすい村となるよう様々な要望活動を行つ

ました。昨年は万博イヤーでもありました。四月から十月までの六ヶ月間、日本国際博覧会（通称・万博）が「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに開催され、約二千五百万の方々が来場されたとのことです。私も、公私ともに万博会場を訪れましたので、その盛況ぶりを覚えております。そして九月十日には「スロバキア共和国ナショナルデー」が開催され、村長と共にご招待いただき参加いたしました。ペテル・ペレグリー大統領のお話を聞きし、その後、ポドドウケルスキーフ民俗芸術団のパフォーマンスを鑑賞しました。伝統的なモチーフと現代のポップカルチャーや見事に融合した見ごたえのある演技に感動をいたきました。例年、平維盛の大祭にはスロバキア共和国より駐日大使にお越しいただいておりますが、引き続き良好な関係を維持してまいります。

本村においては、昨年は大きな災害もなく平穏な一年であったのではないかと振り返っております。しかし、自然災害はいつ、なんど起きるかといふかわかりません。昨年は阪神淡路大震災発生から三十年となる節目の年であり、南海トラフ巨大地震の今後三十年の発生確率が「六割」から「九割程度以上」と見直

しがされました。発災から二年を迎える能登半島地震においても改めて半島地域の脆弱性が露呈されたことから、昨年三月には「半島防災」を初めて明記した改正半島振興法が成立しました。大地震が発生した際、最も重要なのは、救急・救命・物資輸送等の道路であります。国道168号線、主要地方道高野天川線をはじめとする県道に況ぶりを覚えております。それに、国道168号線、主要地方道高野天川線をはじめとする県道につけても生命を守るために、維持補修等の様々な整備が必要であります。

また、県道は内吉野地方の発展と生活環境の向上を図るために重要な道路網であり、経済状況が円安傾向の影響により増加するインバウンド観光客等の観光振興の面においても「京奈和自動車道」や「南北奈道路」・「国道168号」等との連携による回遊性の向上が重要です。山間部に位置することから整備には多額の事業費を要しますが、国や県に熱意を持って要望し、村民の皆様が安心して暮らせるよう生活基盤の安定を図つてまいります。

我々、村議会議員一同、役割と責任の重さを自覚し、村政運営の一翼を担つていきます。

本年も皆様の更なるご支援、ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様方にとつて実り多き年となりますことを心より祈念いたしまして、年頭の挨拶とさせていただきます。

子育て支援の観点で参りますと、国の「こども家庭庁」の新設をはじめ、国・県・村では多くの施策を取り組んでおります。昨年十月本村ならではの地域性により高校生が寄宿することが多い、「畠傍寮」の視察に伺いました。順次不備の



新年あけましておめでとうございます。 本年も社会福祉協議会をよろしくお願ひいたします。

社会福祉協議会では、住民の方々の生活を支援するサービスを本年も引き続き実施いたします。主な事業はヘルパーによる訪問介護や福祉有償運送、配食サービス事業等で、その他、民生委員、日本赤十字社、赤い羽根共同募金等の事務局運営や福祉に関する業務を行っておりますので、希望される方は下記までお気軽にお問合せ下さい。

●お問い合わせ先● 社会福祉法人 野迫川村社会福祉協議会 TEL: 0747-37-2941

11/19 野迫川村消防団第2分団消防訓練

11月19日（水）、上垣内地区にて「秋の火災予防運動」の一環として、消防水利及び放水訓練を行いました。

訓練には、第2分団消防団員10名が参加し、上垣内勝手神社の山頂で火災が起こったと仮定して奈良県広域消防組合野迫川分署の指導のもと、消防小型ポンプを連結させ放水の手順を確認しました。

寒い冬は、暖房器具の使用が増え、火災が発生しやすい季季になります。改めて防火意識を高め、日頃から火の用心を心がけましょう。



11/21 内吉野体育協会 ゲートボール大会開催

11月21日（金）、十津川温泉ホテル昴 多目的広場において、令和7年度内吉野体育協会ゲートボール大会が開催されました。

この大会は、野迫川村と十津川村の二村合同で毎年行われているものです。広く村民の間にスポーツを振興し、明るく活力ある生活の形成に寄与するとともに、内吉野から地域の元気を発信することを目的としています。

今回は、野迫川村から1チーム、十津川村から2チームが出場し、それぞれのチームの総当たり戦で競いました。当日は天候に恵まれ、各チーム一歩も譲らず白熱した戦いを繰り広げました。3試合を行い、野迫川チームは見事優勝に輝きました。和気あいあいとした雰囲気の中で、ゲートボールを通じて両村の交流を深めることができました。



野迫川村からのお知らせ

令和8年2月 診察予定表

○内科・外科診療 (大西真衣医師)

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
		2日	3日	4日	5日	6日
受付時間	午前	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30
	午後	13:00～16:00	13:00～16:00	休診	休診	13:00～16:00
送迎地区	午前	立里・上垣内・北股	今井～上			平～弓手原
	午後		池津川			
		9日	10日	11日	12日	13日
受付時間	午前	9:00～11:30	9:00～11:30	休診 (建国記念の日)	休診	9:00～11:30
	午後	13:00～16:00	13:00～16:00			13:00～16:00
送迎地区	午前	立里・上垣内・北股	今井～上			平～弓手原
	午後		池津川			
		16日	17日	18日	19日	20日
受付時間	午前	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30
	午後	13:00～16:00	13:00～16:00	休診	休診	13:00～16:00
送迎地区	午前	立里・上垣内・北股	今井～上			平～弓手原
	午後		池津川			
		23日	24日	25日	26日	27日
受付時間	休診 (天皇誕生日)	9:00～11:30	9:00～11:30	9:00～11:30	休診	休診
		13:00～16:00	休診	休診		
送迎地区	午前	今井～上				
	午後	池津川				

○歯科診療 (寶達照樹医師)

	5日(木)	19(木)
受付時間	9:30～11:30	9:30～11:30

※今月は、歯科医師の都合により、5日(木)、19日(木)の午前中の診察となります。

ご不明な点がありましたら診療所までお問い合わせ下さい。

※受付時間厳守でお願い致します。



●お問い合わせ先●

国民健康保険診療所 TEL: 0747-37-2202

令和8年 野迫川村消防団出初式について

12月4日（木）に野迫川村消防団分団長・副分団長会議を開催し、以下の通り決定しました。

野迫川村消防団出初式

日時 令和8年1月16日（金）
集合 午前 8時30分
開式 午前 9時00分
場所 野迫川村公民館

奈良県消防協会南吉野支部連合出初式

日時 令和8年1月16日（金）
集合 午前 10時00分
開式 午前 10時30分
場所 野迫川村公民館

診療所 歯科 だより

野迫川村歯科医師 正田晨夫

冬場の脱水に気をつけましょう

今夏の汗をかく時期に限らず、暖房で乾燥する冬は特に脱水は見落としがち。元気な高齢者でも約2割は「かくれ脱水」と言われる状態になっています。暖房をつけっぱなしになり、お部屋の空気が乾いて、皮膚や呼吸から気づかないうちに水分が失われます。また、汗をかかないため喉の渴きを感じにくく、水分補給を忘れがちになります。脱水症になる一步手前の状態を『かくれ脱水』と呼んでいます。かくれ脱水の段階でみつけ脱水症になるのを予防することが大切。



「かくれ脱水」のサインを見逃さないで

- ・喉が渴く
- ・口がねばつく、口が渴く
- ・オシッコの色が濃くなる
- ・皮膚がカサカサ、張りがなくなる

※口が渴くと（口腔乾燥）
→むし歯、歯周病、口臭



※脱水症→血液が濃くなる→放置すれば脳梗塞や心筋梗塞など重大な病気に



脱水症の予防

冬は鍋料理♥水分も多く摂れる



朝と寝る前にお水を1杯



唾液腺マッサージも



冬場の歯の手入れは大切！！



お正月に続く冬場は美味しいものをたくさん食べたり、お酒を飲む機会も多いでしょう。うっかり歯磨きをせず寝てしまう・・・なんて、お口のケアを怠りがちになることもあります。

冬場はお口が乾燥しやすい ⇒ むし歯、歯周病になりやすい

- 空気の乾燥** 暖房の使用により室内が乾燥し、お口の水分が蒸発しやすくなります。
- 唾液の減少** 寒い季節は汗をかきにくく、水分補給が疎かになります。その結果、全身の水分バランスが崩れ、唾液の分泌にも影響が出ます
- 自律神経の乱れ** 暖房と外の気温、朝晩の気温差や日照時間の減少による疲労が原因で体が緊張し、自律神経のバランスが崩れることによって唾液腺の働きも低下します。

お酒にご注意



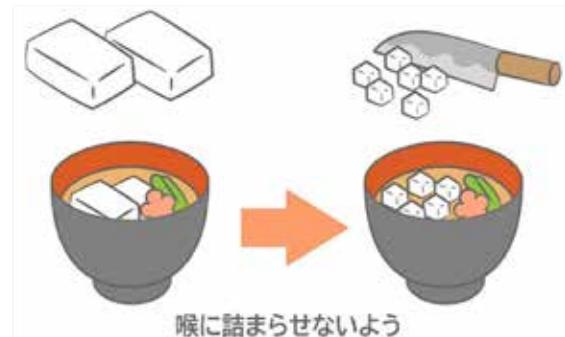
お酒には利尿作用と脱水作用があるため、体内の水分量が減り唾液が少なくなってお口の中が乾燥しやすくなります。糖分が多いお酒や酸性の強いお酒は虫歯や歯周病の原因となる菌の活動を促進します。おつまみも濃い味付けが多く、歯のためにも、お酒を飲んだ後はしっかりと歯磨きをしましょう

お餅の食べ方にご注意

餅を詰まらせて窒息死する人は、65歳以上では年間3,500人以上にのぼり、特に正月三が日に死亡事故の約2割が集中します。

高齢者は、ものを噛む力や飲み込む力が衰えていたり、薬の影響で唾液が少なくなることが原因で、窒息事故のリスクが高まります。

- なるべく一人で食べない。
- 汁物や飲み物で喉を潤してから食べる。
- よくかんでから、ゆっくり飲み込む。



喉に詰まらせないよう
餅を小さくカット

吉野税務署からのお知らせ

令和7年分 所得税及び復興特別所得税・贈与税
の確定申告は、**3月16日(月)**までです

確定申告会場は、大変混雑します。



ご自宅等から

スマホ・パソコンによるe-Taxをご利用ください!

自宅等からのe-Taxの手順！

STEP

1 「国税庁ホームページ」へアクセス

- ・税務署に行く手間と時間がかかりません
- ・確定申告期間中は**24時間いつでも**利用OK

確定申告

スマホ申告は
ここからスタート



STEP

2 申告書を作成

- ・画面の案内に沿って入力すれば、税額などが自動計算され簡単に作成できます



STEP

3 「国税庁ホームページ」からe-Taxで送信 (e-Taxの送信方法は2通り)

マイナンバーカード方式 (柱目)

① マイナンバーカード



② マイナンバーカード
読み取対応のスマホ



全国で408万人が
自宅等からスマホで
申告しています

※パソコンの場合、ICカードリーダライタでも可

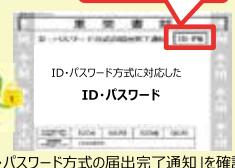
マイナンバーカードをお持ちでない方は…

ID・パスワード方式

- ① ID (利用者識別番号)
- ② パスワード (暗証番号)

※ 令和7年10月1日以降、ID・パスワードの新規発行が停止されました。
なお、すでに届出されてID・パスワードを発行されている方は、引き続き利用することができます。

ID・PWが目印



ID・パスワード方式に対応した
ID・パスワード

印刷して郵送等で提出も可能です

吉野税務署で確定申告の申告相談等を希望される方

- 確定申告会場の開設期間は、**2月16日(月)から3月16日(月)**までです(土・日・祝日を除く)。
- 相談受付時間は、**15時**までになります(前年より相談受付の締切時間が**1時間早く**なっておりますので、ご注意ください。また、混雑状況により早めに相談受付を終了する場合があります)。
- 入場には、「入場整理券」が必要です(**LINEでの事前発行**が便利です。)。

《申告書等の作成について》

- 会場では、**原則スマートフォンを利用した申告書の作成**をしていただきます。

持ち物として、ご自身の『スマートフォン』と『マイナンバーカード』に加え、右図を参考に『マイナンバーカード取得時に設定した暗証番号(4桁・6桁以上)』を必ずご持参ください(カードを取得している方のみ)。

- パソコンによる申告希望の方は、長時間お待ちいただく場合があります。

「土地や建物等の譲渡所得」、「金地金などの総合譲渡」、「山林所得」、「贈与税」の相談は、専門の担当者が従事している「指定日」での対応となりますので、以下の日付にお越しください。

上記開設期間中の2/16(月).17(火).24(火).25(水).26(木).3/9(月).10(火).11(水).12(木).13(金).16(月)



てんいち先生

新年あめでとうございます

1月1日って11だね



11はひととひとと読めるね

ひととひとは人と人だ



11を横にすると…

二等しい

ひとひと人は等しい！



新しい年の始まりだ
今年も人権を大切にね



毎月11日は「人権を確かめあう日」

村の最新情報はこちらから



X (旧twitter)



facebook



instagram

村税・保険料納期限

税目・保険料	納期限日
介護保険料（第7期）	1月26日（月）
村県民税（第4期）	
後期高齢者医療保険料（第7期）	2月2日（月）

上記、納期限までに役場窓口や、郵便局・銀行等で納付をお願いします。また、口座振替の引落しもこの日に行いますので、口座預金の準備をお願いします。

●お問い合わせ先● 住民課 TEL：0747-37-2101

村内サービスのお知らせ

▼お買い物バス運行中

コース	運行日	行き先
野川コース	第1、第3火曜日	スーパーセンターオークワ 橋本店
弓手原コース	第2、第4火曜日	

※前日までに要予約（先着8名）／料金：無料

●お問い合わせ先●

産業課 TEL：0747-37-2101



▼配食サービス実施中

65歳以上の希望者へ毎月第2・4木曜日に手作りお弁当を配達しています／料金：1食300円

●お問い合わせ先●

社会福祉協議会 TEL：0747-37-2941

▼福祉有償運送サービス運行中

病院・施設への送迎の他、買い物や散髪等の日常生活に関する目的のために利用できます／要支援・要介護認定者など、利用対象者に制限があります（詳しくは村社協まで）／料金：初乗2kmまで300円、その後1kmごとに20円ずつ加算

●お問い合わせ先●

社会福祉協議会 TEL：0747-37-2941

第1回 野迫川村

モルック大会 開催

11月15日（土）、野迫川村ふれあい広場において、第1回野迫川村モルック大会が開催されました。本年度から新たに始めた取組でしたが、7歳から92歳まで、総勢60名の参加がありました。

3人1チームに分かれ、トーナメント戦で試合を行いました。敗者復活戦も行われ、それぞれのチームが最後まで全力を出し、見事なプレイを披露していました。拍手や歓声が飛び交い、参加者それぞれが大会を楽しんでいました。

大会後には参加者対象の抽選会が行われ、液晶テレビや冷蔵庫、オーブントースターなど豪華景品を獲得する方もおられました。

モルックは子どもから大人まで、年齢や性別を問わず誰でも気軽に楽しめる競技です。来年度以降も本大会を継続していきたいと考えておりますので、皆様ぜひご参加ください。



野迫川小中学校防災教育開催

11月18日（火）、野迫川小中学校において、令和7年度野迫川小中学校防災教育が開催されました。

国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所の皆様、奈良県県土マネジメント部砂防・災害対策課の皆様にお越しいただき、小中学校の児童生徒を対象に防災についての講義をしていただきました。

水害・土砂災害についての説明を行った後、VR装置を使用した土砂災害体験や、模型を使用した土砂災害発生メカニズム理解の体験を行いました。子どもたちは興味を示しながら、それぞれの体験を受講していました。

北股地区の災害現場にも赴き、緊急災害対策派遣隊（テック・フォース）の制服に着替え、重機の操縦を体験しました。初めて触れる重機に子どもたちは目を輝かせていました。

防災教育全体を通じて、子どもたちは講義や体験に真剣に向き合い、災害の恐ろしさを感じるとともに、防災への意識を高めていました。



村の人口／11月30日現在 [世帯数] 205戸 [人口] 316人(男157人・女159人)